

第 46 回

東京大学医学部附属病院・22世紀医療センター
産学連携メディカルフロンティアセミナー

日時：平成 25 年 12 月 10 日(火) 18:00~19:00

場所：東大病院中央診療棟 II 9 階
免疫細胞治療学講座研究室

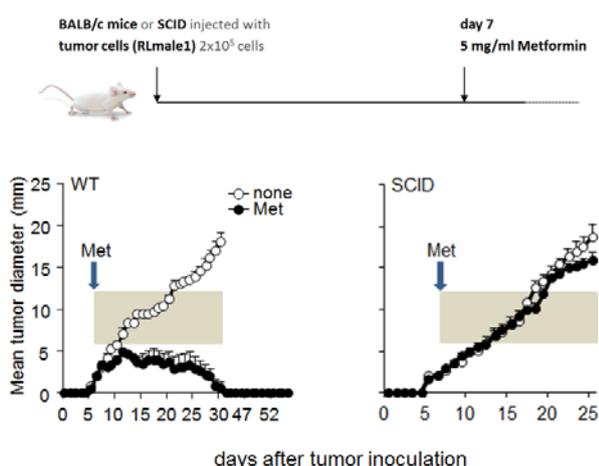
2 型糖尿病薬メトホルミンの
CD8T 細胞疲弊解除を介した抗腫瘍作用

講師 榮川伸吾博士

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座 免疫学分野

メトホルミン（ビグアナイド）は 2 型糖尿病治療薬として知られているが、近年、糖尿病またはがんを併発した患者における疫学調査で、メトホルミン長期服用患者においてがん死・発がんともに減少していることが明らかとなり、その抗腫瘍作用が注目されている。抗腫瘍作用として、腫瘍細胞の増殖抑制やがん幹細胞の減少等、直接的に腫瘍に作用するという報告がある。糖尿病患者においては感染症およびがん発症リスクが高いことから、患者の免疫機能が低下していることが予想されるが、メトホルミン服用に



より患者における免疫機能が回復し、がんのリスクをより低下させている可能性は十分に考えられる。

メトホルミンによる抗腫瘍作用をマウス腫瘍モデルにおいて免疫学的に解析し、メトホルミンの抗腫瘍作用と免疫系との関係を御講演頂く予定です。Metabolism & Cancer, Metabolism & Tumor Immunity は現在最先端のトピックスです。

皆様のご参加をお待ちしています。

主催 免疫細胞治療学(メディネット)講座

連絡先 垣見 36590